



## ～未来の土木技術者たち～

### 青森工業高等学校生徒35名が工事現場を見学

10月6日(火)、青森県立青森工業高等学校都市環境科の生徒35名が、国道7号青森環状道路の橋梁耐震補強・橋梁補修工事現場を見学しました。

今回の見学会は、若年者の建設現場見学会並びに建設現場実習の一環として、青森市建設協会の主催により、青森市浜田字玉川地内の妙見橋において、実施したものです。

見学会では、青森県内の橋が補強・補修を必要としている現状や、耐震補強工事で設置する落橋防止装置や変位制限装置の概要説明を受けたあと、妙見橋の下へ移動し、『どの位置に鉄筋があるか』実際に超音波機器を使用して調査する鉄筋探査実習も行い、生徒ひとりひとりが緊張した面持ちで壁に調査機器を這わせ、数値を読み取っていました。



鉄筋探査実習の様子



妙見橋の下へ移動する様子



概要説明の様子

今回の見学会を通して、未来を担う若き土木技術者の皆さんが、実際に工事現場を身近に知ること、建設業への理解を更に深めていただければと思っております。